

## みんなの声を活かす意見公募手続の結果公表

様式3

案件名「(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館整備基本構想」(案)

「(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館整備基本構想」(案)に対し、ご意見をいただきありがとうございました。出された意見の内容(概要)及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

### みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	6	人
2	提出された意見の数	9	件
3	意見の反映状況		
	① 反映した意見		件
	② 既に盛り込み済みの意見	2	件
	③ 今後参考とする意見	7	件
	④ 反映できない意見		件
	⑤ その他(質問等)		件
4	意見の反映状況一覧		
No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	木は切られて加工されたあとも、生きて呼吸し続けるという事が理解されるようにデザインして欲しい。	「木育」の象徴となる本施設は、木材を積極的に活用し、「木と触れ合い、木に学び、木と生きる」という観点から、市内外の多世代の人々が木に触れながら木材の良さや温もりを感じられるような施設整備を目指していきます。	参考とする意見
2	個々で遊ぶこともでき、知らない子(親)同士でも何となく一緒に遊べてしまうように計画して欲しい。	子どもが、一人で遊べるものから、大人を含めて大勢で楽しめるもの、また、コミュニケーションを促すものなど、多様な木のおもちゃに触れながら遊べる・学べる空間の提供を目指していきます。	参考とする意見

3	<p>「〇〇禁止」「〇〇しないでください」という表現をできるだけ少なくして欲しい。</p>	<p>本施設の管理運営上、各部屋のゾーニングや動線等を検討し、施設内の安全確保に努めながら、子どもの感性を豊かにし、想像力を育むことができます。</p>	<p>参考とする意見</p>
4	<p>「ここまで木を使うの？」とびっくりさせる部分も欲しい。 (例)：洗面台、トイレの壁や床</p>	<p>本施設は、地域木材の魅力を発信し、木のぬくもりやにおいを五感と体全体で体感できる施設整備を目指しますが、今後、イニシャルコストやランニングコストを踏まえ、施設の維持管理や安全性など、総合的に判断していきます。</p>	<p>参考とする意見</p>
5	<p>本事業が上手くいかなかった時（目標未達、大幅赤字発生等）の責任体制を明確にする。 特に、企画運営を主導するNPO法人「芸術と遊び創造協会」のほぼ独占事業となるため、事業収支についても連帯責任を負ってもらうような契約をすべきと考えます。</p>	<p>おもちゃ美術館は、郷土の自然や文化が遊びと融合した交流型ミュージアムであり、本市は、今後、全国のおもちゃ美術館と姉妹館協定を締結することを目指しております。 そこで、東京おもちゃ美術館を運営し、施設の企画・運営や、人材育成の支援等、この取り組みの総合監修をしているNPO法人「芸術と遊び創造協会」と連携して整備事業を進めております。</p>	<p>参考とする意見</p>

		開館から当面の間は、本市の直営を念頭に、NPO法人「芸術と遊び創造協会」の伴走型運営支援等も含め、今後、具体的な運営方法を検討していきます。	
6	子どもたちが自由に絵を描ける場所や絵を鑑賞出来る環境作りも、大切ではないかと思います。 おもちゃと絵画アート美術館の企画構想を提案いたします。	本施設は、全ての人が文化を楽しむことができ、安心感をもって滞在できる癒しの場となるような「インクルーシブミュージアム」の整備を目指し、おもちゃエリア以外の研修室（会議室）や体験ルーム、エントランスなど、共用部分を多目的に有効活用できるよう検討していきます。	参考とする意見
7	御殿場に造るおもちゃ美術館は、「世界のおもちゃ」コーナーあるいは、日本各地のおもちゃのコーナーがあっても良いと思う。	「第3章（6）基本コンテンツスペース」のとおり、世界100カ国以上からなる約15万点のおもちゃを、NPO法人「芸術と遊び創造協会」監修のもと企画・展示し、日本各国の歴史的にも価値のあるおもちゃを、国内のみならず、世界へ発信し、おもちゃの文化継承を行っていきます。	既に盛り込み済みの意見

8	<p>木材や林業の置かれている現状や、木材の特徴や利用の意義、森林の価値などを環境・経済・文化・社会的な視点から学べる中学生以上を対象とした展示解説場を、「富士山 木のおもちゃ美術館」内に設ける。</p> <p>または、別館併設で「富士山 木育会館」仮称を設ける。</p>	<p>「木育」による豊かな自然を感じられる持続可能な地域社会の実現には、今後も林業の振興を図りながら木材を積極的に利用し、木材の需要拡大を通じた森林の新陳代謝を促していくことが重要となります。</p> <p>よって、本施設は、多世代交流や遊び・体験の空間だけではなく、様々な学びや地域活力が溢れる空間の整備を目指していきます。</p> <p>また、「木育」を推進するための展示や活動を、共用部分などを多目的に有効活用し、市民団体とネットワークを構築しながら、本市の木材の魅力を広く発信していきます。</p>	参考とする意見
9	<p>小学生低学年から高学年、更には中学生以上までを対象とした木育の具体的活動として、木材加工品を実際に子供たちに製作してもらいたいと考えています。</p> <p>低学年時には簡単な作業を通じて木に触れ親しみを感じてもらい、学年が上がるにつれ徐々に難しい加工を行い、楽しみ学んでそして自然の大切さを気づいてもらうことを目的としています。</p> <p>この活動が、地域の木を消費することに繋がれば尚良いと考え、ゆくゆくは木材加工関係者を講師として招き、高度な木育の場が提供できればとも考えています。</p>	<p>手作りおもちゃのワークショップを開催し、身近なものからおもちゃが産まれる体験を通じて、自らおもちゃを作り出し工夫する楽しさや、道具の使い方の学びの機会を提供していきます。</p> <p>また、施設内に電動糸鋸を配備し、木の文化継承や地域木材を使った「木育」活動を行うなど、地元人材の活躍の場と、文化を発信する機能を併せもつ空間を整備していきます。</p>	既に盛り込み済みの意見

5 意思決定後の策定案の内容	(資料添付)
6 意見の公表先	市ホームページ、未来プロジェクト課

担当課	御殿場市 企画戦略部 未来プロジェクト課プロジェクト推進スタッフ TEL : 0550-82-4349 メールアドレス : mirai@city.gotemba.lg.jp
-----	--